

紙の印刷物から 動画・音声・音楽・3D も とっても簡単！ おもしろ AR



NEWS LETTER 遊文通信

2017年7月発行

73

以前にも、この遊文通信でARの紹介をさせて頂きましたが、あれ以後、実際にARを活用する機会が増えてきましたので、改めて具体的な事例を紹介させて頂きます。

まずは、ARを簡単に説明いたします。「COCOAR2（ココアル2）」というアプリをダウンロードして、パンフレット・カタログ等の印刷物の写真・イラストにスマホをかざすと画面上に動画・画像・音声流れるというしくみです。例えば、花のつぼみのイラストにスマホをかざすと、画面上でその花が咲いていく様子を鑑賞することができます。以下は遊文舎がARを活用した（もしくはこれから活用する）事例です。

①社内報で新人PRを動画でみせる

毎回作成させて頂いている某企業の社内報で、約30人の新入社員の写真が掲載される新入社員紹介のコーナーがあり、見開きページでそれぞれの写真の下に自己紹介が記載されているという内容になっています。今回、そのコーナーで各新入社員のPR動画をARで見せる事を提案したところ、おもしろそうだと採用して頂きました。新入社員の皆様に1分ほどの挨拶動画を自ら撮ってもらい、それを弊社で各写真に設定いたします。今、進行中ですが、かなり賑やかでアピール合戦のようなおもしろい紙面になると思います。

②パンフレットで授業風景を動画でみせる

某専門学校で、生徒募集パンフレットを作成しているのですが、来年度募集のパンフレットで何か紙面上で他校との差別化ができません

いかという事で、ARを提案いたしました。パンフレット内に授業紹介があるのですが、その授業風景写真に、実際の授業風景を撮影した動画を設定する事で、よりリアルで訴求効果のある情報を提供できるのではないかと考えました。確実に差別化は図れたと思いますので、効果がどうなるか楽しみです。

③カタログで企業広告を動画でみせる

某企業で年に一回、主力商品のカタログを作成するのですが、その中に関連企業の広告ページがあり、そこにARを導入する事を提案しました。企業によっては独自のPR動画を作成しており、それをそのままARで紙面上に活かすというしくみです。通常そういう動画はHP上でしか見られないものが多いのですが、ARによって、カタログからでも見る事が可能になりました。文言と写真よりも情報量豊富で、かつ幅広い方々に見てもらえたという事で非常に好評を得ることができました。

ARの提案をしていて思う事は、こちらから簡単に説明をすれば、聞いて頂いた方々からの逆提案があるという事です。ARとは何か難しい事のようにお考えの方が多いように思いますが、本当に簡単なものなので、興味のある方はぜひ一報ください。私共営業がいつでも説明にあがらせて頂きます！

（企画営業部 和田 悟史）



企画営業部 和田 悟史

- ▶入 社：12年目 ▶年 齢：43歳 ▶出身地：大阪府松原市
- ▶出身大学：追手門学院大学経済学部
- ▶趣 味：サッカー観戦。読書。サッカー観戦といっても、Jリーグや日本代表を観戦するわけではなく、中2の息子のサッカー観戦です。最近は「見に来るな」と本気で言われるので、こっそり見に行っています（笑）。読書で最近買ったのが、去年発売されたドン・ウィンスロウの「ザ・カルテル」です。前作の「犬の力」もすごかったのですが、メキシコマフィアの抗争を描く圧倒的な描写は感動すら覚えます。長い物語ですが、読んで損はない一冊です。
- ▶ひと言：最近、結構痩せたので、ご心配くださる方がいらっしゃるのですが、ちゃんとダイエットをしました。病気ではございません（笑）。

最短3時間で印刷
すぐスールCOM

インターネットでらくらく発注！
1 申し込みフォームに入力

2 QRコードや「COCOAR2」でアプリを検索
3 ダウンロードが完了したらアプリを起動
4 対象のマーカ画像をスキャン
5 動画などのコンテンツが再生されます

弊社運営サイト
すぐスール広告動画です。
「COCOAR2」をダウンロードして、上記画像にかざしてみてください！

Download on the App Store
GET IT ON Google Play



株式会社

遊文舎

【大阪本社】〒532-0012 大阪市淀川区木川東4丁目17-31
TEL：06-6304-9325（代） FAX：06-6304-4995

【東京営業所】〒101-0061 東京都千代田区三崎町2丁目20-7 水道橋西口会館 8F
TEL：03-5357-1420 FAX：03-5357-1421

<http://www.yubun.co.jp/>
E-mail info@yubun.co.jp

2017年
夏

遊文舎恒例 大社員旅行道中記

7月7日金曜日、9時17分、JR新大阪駅発サンダーバード11は遊文舎のメンバーを乗せて金沢へ向かいました。

大阪の天候はあいにくの梅雨空でしたが、サンダーバードの車内にいる遊文舎のメンバーはみな北陸紀行に思いを馳せ、めったに見る機会のない湖西線の琵琶湖の風景、山越えから長いトンネルを抜け北陸の玄関口敦賀から福井～石川の旅情を満喫。昼に金沢に着くころにはボルテージは最高潮に達しました。晴天の金沢駅で北陸新幹線で来た東京営業所のメンバーと合流し、兼六園と金沢21世紀美術館を巡り、美しい景色や芸術作品などのすばらしい思い出を記憶の中に持ち帰ることができました。

特に兼六園は金沢に来て、じっくり見て回ることには少ないようで、ベテランのガイドさんの的を得た説明で、歴史に培われたその価値の本質を知ることができたとの声もありました。金沢21世紀美術館の新旧入り混じった展示には、「栗津潔」コレクションの一部があり、本の装丁デザインやポスターの前でじっと佇む姿もありました。

そしていよいよ、お宿は和倉温泉の名宿日本の宿のと楽。富山湾を一望する能登玄関口の雄大な風景を満喫できる最高のロケーションに皆、旅のつかれも忘れておおはしゃぎ。夕食までの時間を各人思いおもいに過ごしました。

19時から恒例の大宴会が始まりました。

この社員旅行を計画等担当した幹事が座席を前もって決めてくれていたおかげで、部署が違っていたりして日頃話す機会が少ない方々とも、美味しいお料理とお酒を堪能し、コミュニケーションを深める事ができました。

一段落ついたところで、社長の司会のもと、各部署の代表が上半期の報告や今後の抱負など、発表の場が与えられ、宴は最高潮に。今まで以上の発展と努力を心に誓いながら楽しい夜が更けていきました。新しい若いメンバーが増え、中堅メンバーが刺激を受けて更に成長する、そんな元気会社を象徴する宴でした。

2日目も金沢は皆の日頃の行いが良く(?)快晴でした。

千里浜なぎさドライブウェイでは海辺の砂浜を観光バスで豪快に走るという、大阪や東京ではできない体験をし、その後、世界遺産の五箇山でマイナスイオンを満喫し、心も体もリフレッシュしました。

社員全員が集まる事は、なかなか難しいのですが、これからも、このようなイベントを通じて、社員同士のコミュニケーションを図る事で、日々の業務がより一層向上する事と思います。

(営業推進 岡田 美幸)



● 編集後記 ●

あっという間に、梅雨が明けました。関東では雨があまり降らず、荒川水系で取水制限が10%から20%に引き上げられるとのニュースが報じられています。九州北部豪雨も、連日報じられていました。私は阪神大震災でも、大きな被害にあわず、天災に見舞われたことはないのですが、いまはどこでなにが起こってもおかしくない状況かもしれません。実際、これを書いているときにも縦揺れ地震がありました(ビルの8階で揺れるととても怖い)。防災グッズの必要性をいままであまり感じず、用意をしていなかったなのでこの機会に用意しようと思いました。(ばっしー)